

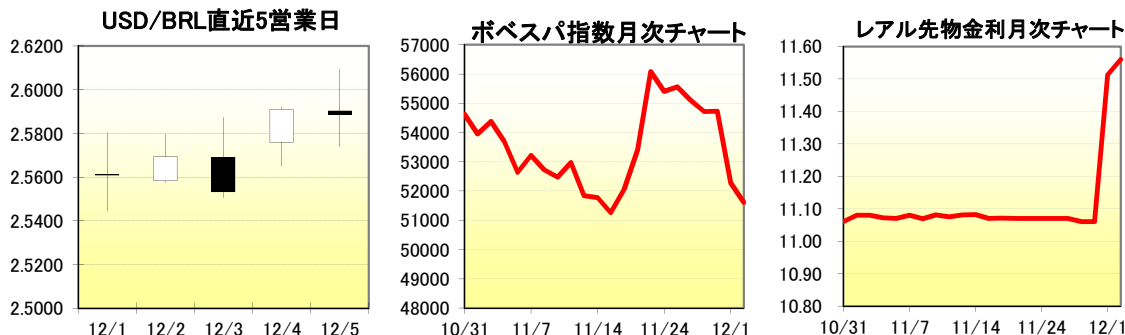
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			12月1日	12月2日	12月3日	12月4日	12月5日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.5610	2.5690	2.5530	2.5910	2.5890	-0.0020
	USD/YEN	Spot	118.30	119.24	119.82	119.78	121.38	+1.6000
	EUR/USD	Spot	1.2476	1.2379	1.2309	1.2374	1.2293	-0.0081
	BRL/YEN	Spot	46.20	46.41	46.93	46.23	46.89	+0.6600
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1.55	1.52	1.52	1.53	1.50	-0.0300
		1Year(p.a.)	1.93	1.97	1.99	2.00	1.98	-0.0230
	Real Interest	6MTH(p.a.)	12.17	12.19	12.29	12.15	12.17	+0.0135
		1Year(p.a.)	12.48	12.56	12.58	12.39	12.40	+0.0044
Stock	Bovespa		52,277	51,612	52,320	51,427	51,993	+566.02
Bond	CDS Brazil 5y		162.33	163.83	159.00	155.00	164.48	+9.4800
	Global 40		107.150	107.100	107.050	107.000	106.950	-0.0500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	1.1%	1.1%	0.6%
FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	4.0%	4.1%	3.2%
IBGEインフレ率IPCA(前月比)	0.5%	0.5%	0.4%
IBGEインフレ率IPCA(前年比)	6.6%	6.6%	6.6%

3. 要人コメント

ブラジルへの資金流入
トンビニ伯中銀総裁 は引き続き見られている

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はU\$1=R\$2.5610で寄り付いた。
- 週初は中国の製造業PMIが予想を下回ったことが嫌気され、コモディティ通貨を中心にリスク資産の売りが見られた。レアルは寄り付き後上記を受けて一気に売りが優勢となるも、PTAX決定に向けての資金流入と思しきレアル買いが見られると、レアルは週間高値となるU\$1=R\$2.5450を付けた。
- 翌2日には11月の米雇用統計発表を控え、ドルは対主要通貨で上昇、レアルは2.57台後半まで反落した。
- 週央にかけては大口の資金流入と思しき動きが見られると、レアルは急反発し、2.55台まで買い戻された。
- しかし翌4日には政策金利を11.75%に引き上げた伯金融政策委員会(COPOM)の声明で追加的な金融政策が節度をもって実行される傾向があるとの内容だったことが嫌気され、レアルは2.5920まで反落した。
- 週末にかけては米雇用統計が発表され、雇用者は約3年振りの大幅な増加を記録したことからドル買いに圧力がかり、レアルは週間安値となるU\$1=R\$2.6090まで急落し、結局U\$1=R\$2.5890で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
12-8	FGV CPI IPC-S	Dec-07	--	0.65%
12-8	貿易収支(週次)	Dec-07	--	--
12-9	FIPE CPI-週次	Dec-07	--	0.58%
12-9	IGP-M Inflation 1st Preview	Dec	--	0.51%
12-12	小売売上高(前月比)	Oct	0.3%	0.4%
12-12	小売売上高(前年比)	Oct	0.6%	0.50%
12-12	広義小売売上高(前月比)	Oct	--	0.5%
12-12	広義小売売上高(前年比)	Oct	--	-1.2%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.50—2.65

今週は2つの重要な要因からリアル相場は大きく動いた。ひとつは国内でCOPOMによる0.50%の利上げ。予想範囲内ではあったが、ルセフ大統領が新しい政権となってインフレ抑制に力を入れていることが伝わり、市場の反応はポジティブ。もう一つは予想外の米雇用統計の結果。非農業部門雇用者数は3年振りの高い伸びとなり、早期利上げの可能性が再び浮き上がった。海外シナリオを見ると、ECB量的緩和期待からリアル買いが見られることが考えられるが、その前に米早期利上げのタイミングを巡って市場では投機的な動きが見られるだろう。2週間後に開かれる米FOMCで来年に向けての利上げ詳細が発表されるかに注目が集まる。一方で、国内では来週から新しい財務相が着任することが予定されており、今後の対策の発表に市場は期待しており、リアル相場のボラティリティーは引き続き高いことが予想される。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。